

Q16 水田に雨水をためる効果は？

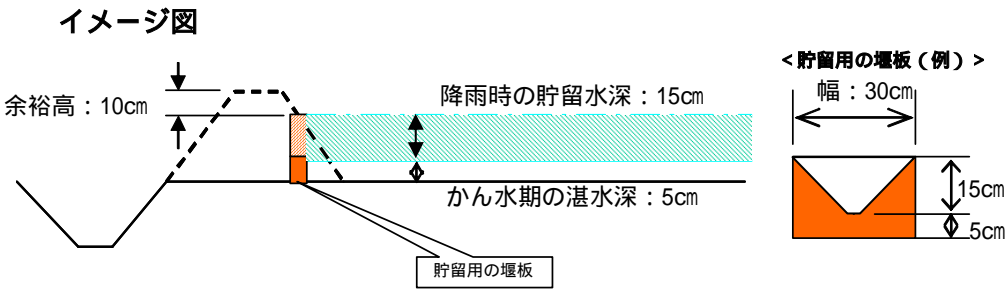
A16 水田には雨水が一時的に貯留されることによる流出抑制効果があり、この効果は、武庫川の治水計画における流出計算で見込んでいます。

また、下図のように堰板構造を工夫してさらに雨水を貯留することにより、「付加的な流出抑制効果」が期待できます。このため、ほ場整備が行われて排水能力が確保された水田を対象に、水田貯留についての農業従事者との意見交換等を始めており、モデル地区を設定し実施するとともに、武庫川流域全体への取り組みを拡大させていくこととしています。

なお、水田の「付加的な流出抑制効果」については、

- ・ 稲刈前や中干しの時期にはその効果を確保できないこと
- ・ 水田が公的組織（県、市など）所有ではなく、流出抑制機能の将来にわたる確保や治水活用に伴う管理、運用面での責任の所在を明確化ができないこと

から、治水計画には見込んでいません。



水稲スケジュールの一例

（赤囲みの時期には雨水を貯留することはできない）

JA兵庫六甲稲作協議会・JA兵庫六甲・JA全農兵庫 監修/三田農業改良普及センター

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業	播種 (4月5日～15日)			田植 5月10日～20日 排水防除 除草 5月10日～20日			(圃場肥)			排水防除 7月15日頃			排水防除 8月20日頃			収穫 9月15日頃		
水管理				やや深水			落水 中干し			間断かん水			たん水状態			間断かん水		